

2025

SUPER FORMULA LIGHTS
RACE REPORT

Rd.1-2-3	SUZUKA CIRCUIT	»»»»»»»»	MAR 08-09
Rd.4-5-6	AUTOPOLIS	»»»»»»»»»»»»»»»»»»	MAY 17-18
Rd.7-8-9	OKAYAMA	»»»»»»»»»»»»»»»»»»	JUN 21-22
Rd.10-11-12	Sportsland SUGO	»»»»»»»»»»»»»»»»»»	AUG 30-31
Rd.13-14-15	FUJI SPEEDWAY	»»»»»»»»»»»»»»»»»»	SEP 06-07
Rd.16-17-18	MOBILITY RESORT MOTEGI	»»»»»»»»»»»»»»»»»»	NOV 29-30



TOM'S

Rd.1-2 SUZUKA CIRCUIT 3.8_[sat]-9_[sun]

circuit 鈴鹿サーキット (三重県鈴鹿市)

weather **sat** 曇り **sun** 晴れspectators 32,500人 (**sat** 14,500人 + **sun** 18,000人)

2025年全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権のRound1・2・3が3月8日(土)・3月9日(日)に鈴鹿サーキットで行われた。今季もTOM'Sから4台がエントリーし、なかでも#35 佐野雄城(さの ゆうき)はデビュー戦でダブルポールポジションを獲得すると、決勝でも力強い走りで3連勝を達成する活躍をみせた。#38 小林利徠斗(こばやし りくと)は2レースで3位表彰台を手にした。#37 古谷悠河(ふるたに ゆうが)は直線スピードが伸びない問題に悩まされ、Round2の4位が最上位となった。

モビリティ中京 TOM'S TGR-DC SFL

35

YUKI SANO

Driver 佐野 雄城

Rd.1			
予選	1位	決勝	1位
Rd.2			
予選	1位	決勝	1位
Rd.3			
予選	1位	決勝	1位

	Rd.1	Rd.2	Rd.3
予選タイム	P1/1'51.230	P1/1'50.628	グリッドは第1戦の決勝レース結果
決勝ベストタイム	P1/1'53.082	P1/1'52.189 Fastest Lap	P1/1'52.714

PONOS Racing TOM'S TGR-DC SFL

36

SEITA NONAKA

Driver 野中 誠太

Rd.1			
予選		決勝	
Rd.2			
予選		決勝	
Rd.3			
予選		決勝	

	Rd.1	Rd.2	Rd.3
予選タイム			
決勝ベストタイム			

Deloitte. HTP TOM'S 320

37

YUGA FURUTANI

Driver 古谷 悠河

Rd.1			
予選	13位	決勝	10位
Rd.2			
予選	7位	決勝	4位
Rd.3			
予選	10位	決勝	11位

	Rd.1	Rd.2	Rd.3
予選タイム	P13/1'58.190	P7/1'51.548	グリッドは第1戦の決勝レース結果
決勝ベストタイム	P10/1'54.442	P4/1'52.806	P11/1'53.751

モビリティ中京 TOM'S TGR-DC SFL

38

RIKUTO KOBAYASHI

Driver 小林 利徠斗

Rd.1			
予選	3位	決勝	3位
Rd.2			
予選	2位	決勝	DNF
Rd.3			
予選	3位	決勝	3位

	Rd.1	Rd.2	Rd.3
予選タイム	P3/1'51.503	P2/1'50.655	グリッドは第1戦の決勝レース結果
決勝ベストタイム	P3/1'53.385	-	P3/1'52.899

QUALIFYING



練習走行の勢いそのままに 佐野がダブルポールを獲得!!

今大会は怪我の治療を優先する為、エステバン・マッソンに代わり、野中誠太が36号車に乗車する予定で練習走行に臨んでいたが、大会前日にスーパーフォーミュラで欠場選手が発生、その代役を野中が務めることとなった。チームとしては苦渋の決断ではあったが野中のステップアップの為、36号車の欠場を決定した。これにより予選と決勝は残る3台で臨むこととなった。

午前8時30分から始まった予選1回目ではトップ3が0.3秒以内にひしめく接戦となるなか、佐野が1分51秒230をマーク。0.003秒差でポールポジションを獲得し、小林も3番手につけた。予選2回目ではライバルがトップに立ったが、走路外走行があったとして当該タイムが抹消され、2番手につけていた佐野が再びトップを奪い、デビュー戦でダブルポールを達成した。小林も2番手となり、モビリティ中京 TOM'S TGR-DC SFLの2台が最前列を独占した。

一方、37号車の古谷は週末を通して直線スピードが伸びない症状に悩まされていた。予選1回目は走路外走行でベストタイムが抹消された影響で13位となり、予選2回目は7位と悔しい結果に終わった。



**ダブルポールを獲得したことは
本当に嬉しいです。**

ドライバー 佐野 雄城

今週末は走り出しから調子が良くて、2日間の練習走行を経てさらに良い状態にもっていくことができました。その流れのまま予選を迎えられたのが大きかったです。一方で、コンディションへの対応など経験を積んで良くしていきたい部分も見つかりました。



**直線スピードの問題もあって
流れを掴めていません。**

ドライバー 古谷 悠河

シーズン前のテストから直線スピードが伸びない問題があって、それを解決するために今回の鈴鹿でも色々やっていました。良くない流れのまま予選に突入して、上位に食い込むことができませんでした。現状を解決しないといけないです。



**もう0.2~0.3秒を詰められるようにデータを掘り下げ
ていきたいです。**

ドライバー 小林 利徠斗

感觸的にはそんなに悪くはないですが、その割にはタイム差がついた結果となりました。自力のペースがすごく良いとは言えない状況のなかで両方の予選とも3番手を獲得できたのは良かったと思います。でも、もう少し詰められるようにしたいです。



シーズン前のテストでの流れがそれぞれの車両に出た結果だと思います。

佐野はシーズン前のテストから良い流れを掴んでいて、今週末もセッショントップを獲るなかで自信もついていった印象です。まだ少し荒いところがあるので、そこが良くなれば速くて強いドライバーになっていくと思います。あとは古谷の車両に関しては早急に問題解決したいです。

Rd.1 天候：曇り/気温：10℃/路面温度：20℃ Rd.2 天候：晴れ/気温：9℃/路面温度：12℃

Rd.3 天候：晴れ/気温：14℃/路面温度：33℃

RACE



佐野がデビュー3連勝を達成!! 小林もトップ争いを展開し 2戦で3位表彰台。 直線スピードの問題に悩まされる 古谷は4位が最上位。

8日(土) 12時30分から始まったRound1は、この週末で一番長い16周で争われた。ポールポジションの佐野は2周目にトップを奪われるが、そのライバルが反則スタートで5秒加算のペナルティを受けたため、繰り上がりでトップとなり、見事デビューウィンを飾った。小林は3位、古谷は最後尾から追い上げ10位となった。

9日(日) 8時20分からのRound2(12周)は佐野と小林がワンツー体制を築くが、小林の車両にミッショントラブルが発生し2周目の最終コーナーでマシンを止めた。その後もセーフティカーが出る波乱の展開となるなか、トップを守り切った佐野が2連勝をマーク。古谷も4位でチェッカーを受けた。12時50分からのRound3(12周)では3番グリッドの小林が好スタートでトップに立ちレースをリードするが、8周目のデグナーカーブでコースオフ。代わってトップに返り咲いた佐野が見事3連勝を達成した。小林はコースオフが響いて3位でチェッカーを受け、古谷は直線スピードが改善されず11位でレースを終えた。



35

結果としては最高ですが、
内容面でさらに
詰めていきたいです。

ドライバー 佐野 雄城

ダブルポールで決勝は3連勝と、これ以上ない結果だと思います。ただ、内容面では1レース目はペースが足りなかったですし、3レース目はスタートでミスがありました。そういうところが今後の勝敗に左右すると思うので、さらに良くしていきたいです。



37

3戦とも直線スピードで
苦しい展開になりました。

ドライバー 古谷 悠河

直線スピードが伸びない問題が続き、特に最後のレースが一番厳しかったと思いました。チームの皆さんと共に次戦までには改善したいです。オートポリスは僕が一番得意なコースでもあるので、そこで力強い走りができるようにしたいです。



38

トップを守ることを意識して、
力が入り過ぎたところ
がありました。

ドライバー 小林 利徠斗

最初の2レースを振り返るとトップに行ける速さが足りないと感じていたので、スタートでいかに仕掛けていくかを意識していました。3レース目は思惑通りトップに立てましたが、攻め過ぎてデグナーでコースオフしてしまいました。



チーム監督 山田 淳

佐野は状況をよく考えてレースをしているなと感じました。

佐野は良いイメージを持って次戦に行けると思いますし、このまま自信を持って臨めば夏場のレースも楽しみです。小林は上がり下りの多い週末で、少し空回りしたところがありました。古谷に関しては断定はできませんがエンジンにも問題があると思うのでシャシを含め、今後どうするかは慎重に検討していきたいです。



Deloitte. **PONOS** **トヨタモビリティ中京** **KUO GROUP**



坪井工業



損保ジャパン

東京アーバンコンサルティング

